

2012年度事業計画

2012年度 運動スローガン

～抜本的改革を目指して～ 志は高く 歩みは着実に

基本方針

1. 患者・ドナー支援活動

中核事業である「白血病フリーダイヤル」「佐藤きち子患者支援基金」「ドナーサポートダイヤル」を着実に実行するとともに、「東日本大震災被災患者支援基金」を継続する。さらに、新たな患者支援にも取り組む。患者さんへの情報提供に努め、闘病を支援する。

2. 啓発活動

加盟団体や関係機関、様々な団体・企業と連携してドナー登録を推進するとともに、ドナーが骨髄提供しやすい環境の整備を求める運動を推進する。種々のメディアを活用して、若年層への啓発を図る。

3. より良い医療を求める活動

患者やドナーのニーズをキャッチし、全国協議会の重要な役割である要望・請願をタイムリーに実施する。「造血細胞移植医療の将来像」については、その実現に向け行動する。そのために、各方面からの情報収集に努める。あわせて各団体に働きかけと情報発信を行う。

4. 運動体の強化

全国協議会の運営に関し、理事会、事務局、加盟団体との関係のあり方を見直し、具体的な改善策を策定・実行する。役員改選において、意欲と能力のある適切な人材が理事として運営に参加するよう呼び掛ける。加盟団体その他の組織とのコミュニケーションに努め、さらなる協力関係を構築する。

具 体 的 方 針

1. 患者・ドナー支援

(1) 患者支援

- a. 「白血病フリーダイヤル」による患者相談を毎週土曜日に実施する。そのために、相談員の拡充や事業のPRを図る。
- b. 「佐藤きち子患者支援基金」により、困窮している移植希望患者を経済的に支援する。
- c. 「東日本大震災被災患者支援基金」により、東日本大震災と原発事故で被災した患者を経済的に支援する。
- d. 患者さんの闘病に有用な最新の情報を提供することに努め、冊子「白血病と言われたら」の2013年度早期発刊に向けた作業を進める。
- e. 患者支援を検討している団体等と連携して、患者さんの闘病を支援する新たな基金の設立を目指す。
- f. 事務所の一部を開放し、患者が交流できる場として「患者サロン」（仮称）を設置する。

(2) ドナー支援

- a. 「ドナーサポートダイヤル」により、骨髄提供やドナー登録に関する相談に応じる。
- b. 小冊子「ドナーになるってどんなこと？」を活用し、職場や家族の理解醸成を図る。
- c. ドナーが骨髄を提供しやすい環境の整備をめざし、企業、経営者団体や労働団体等への働きかけを行う。

2. 啓発活動

(1) 情報発信

- a. 機関紙である全国協議会ニュースを毎月発行する。
- b. インターネット、フェイスブック、ツイッター等のメディアを活用した情報発信を図る。

(2) 啓発活動

- a. 外部団体・企業等が主催するイベントと連携し、様々な機会に啓発活動に取り組む。
- b. 学校からの職場訪問、ボランティア体験学習、インターンシップ等を積極的に受け入れる。
- c. 「いのちの輝き展」「あやちゃんの贈り物展」「MAMOのメッセージ展」等の活用を図る。
- d. 「ありがとうキャンペーン」（2009年度実施）で植樹した各地の桜を普及啓発に活用する。
- e. 株式会社サンリオのご協力によりキャラクターを使用した普及啓発グッズを作成し、活用する。

3. より良い医療を求める活動

(1) 要望・請願活動

- a. 保険適用、法制度の整備、その他について、必要な要望・請願を適宜実施していく。
- b. 「造血細胞移植医療の将来像」で掲げた造血細胞バンクの実現に向け、関係機関に働き掛ける。

(2) 調査・研究

- a. 「第5回公開フォーラム」を、関係機関との共催で開催する。
- b. 国内外の学会等に参加し最新情報を収集するとともに、国内外の関係機関にスタッフを派遣して、患者支援・患者擁護、造血細胞移植の法制度等を調査する。
- c. 非血縁者間末梢血幹細胞移植に関する情報を収集する。

- d. 上記の調査・研究で得られた有用な情報を整理し、加盟団体やボランティアに適宜提供する。

4. 運動体の強化

(1) 運動ネットワークの強化

- a. 加盟団体や協力団体等との協働事業に取り組み、各地での活動の強化を図る。
- b. ボランティアのため、ボランティアの集いや勉強会・意見交換会等を開催する。
- c. 「ブロックセミナー」を開催し、地域ごとの連携強化によるボランティア活動の活発化を図る。
- d. 公益財団法人骨髄移植推進財団、さい帯血バンクネットワーク、日本赤十字社等からの要請により、役員・委員等を派遣する。
- e. 日赤・地方自治体や財団等が行うドナー登録・献血推進活動に協力する。
- f. 財団、さい帯血バンクネットワーク、日赤や行政等との意見交換により、情報の共有化を図る。

(2) 全国協議会の組織強化

- a. あり方検討会の答申をもとに、組織運営の改革を進める。常勤事務局長配置の実現に努める。
- b. 財政基盤強化のため、募金箱の設置・助成金の応募等により資金確保を図る。
- c. 役員改選期を迎えるにあたり、役員選挙を実施する。

5. その他

上記1から4に掲げたものの他、患者やドナー支援、造血細胞移植医療の充実のために必要な事業を実施する。